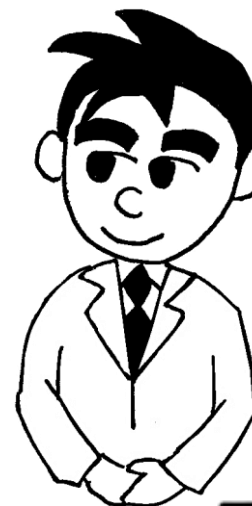
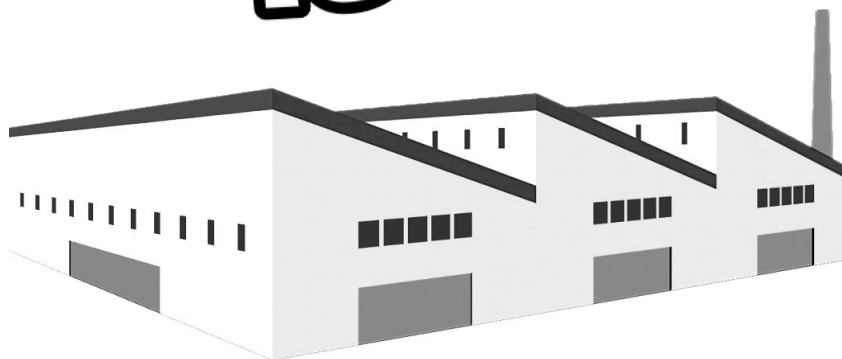


見える化で
もうかるって

ほんまか?
ほんまです!



その② コストダウンの実現



この前言っていた
384万円のコストダウン
の話は、ほんまか？



ほんまです！
今日はその話をします



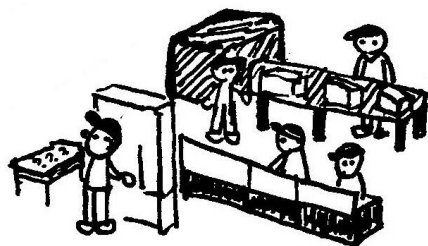
ではまずコストダウンから
ご説明いたします

大事なことはリアルタイムに主要機械の個
別稼働状況を全員で共有して問題点を解
決して稼働率をアップさせることです



なるほど、全員が自分の機械の状態
が見えると数%は能率が上がりそうだ

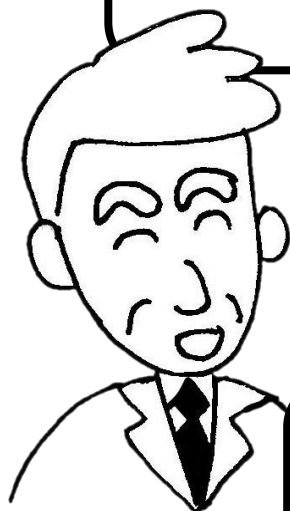




本間工場長
機械は何台
ありますか？

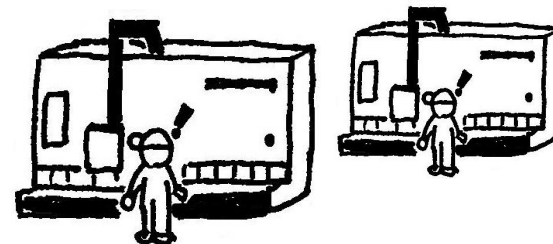


機械は20台あるで



時間チャージは
いくらですか？

時間チャージは
5,000円やで



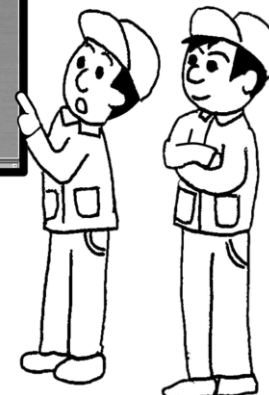
それで、稼働率が2%上がった場合
年間384万円のコストダウンになります



ほんまか？
どういう計算なんや？



No001	No002	No003	No004
35235/D	17618/D	8869/D	4405/D
No005	No006	No007	No008
4405/D	0/D	0/D	0/D



- ・機械台数 20台（人）
- ・時間チャージ 5,000円
- ・月稼働 20日 × 8時間 = 160時間

ほんまです！

稼働率2.0% ↑

20台 × 5,000円 × 160時間 × 2.0% = 32万円

（月利益アップ）

32万円 × 12ヶ月 = 384万円

（年間利益アップ）



なるほど



※自動機だけでなく「手動作業」も
完了ごとにスイッチを押して
自動機の稼働信号と一緒に集計できます

この時期に
ムダな出費は
絶対にしたくない

ほんまかって
聞いたら
ほんまです
言いよった

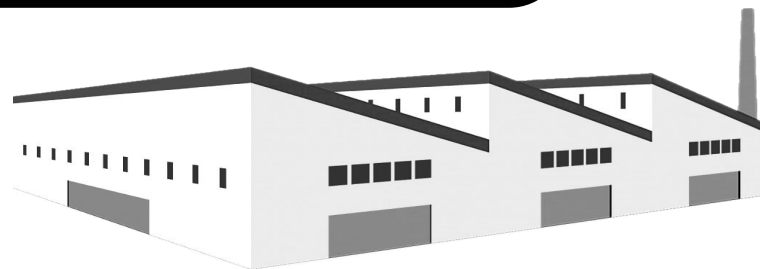
一生懸命に
がんばっている
現場の監視は
したくない...

売上げが
下がっている

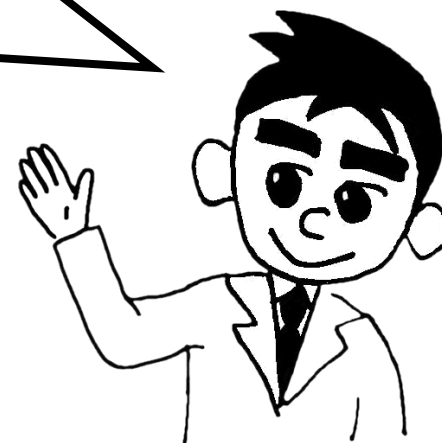




なにかと
初期費用がかかるしなあ・・・



本間工場長
それが**簡単**にできる
しくみなんですよ！
また改めてご説明します



つづく